

要安全確認計画記載建築物（避難路沿道建築物）の耐震診断結果の公表

令和5年3月31日現在版 福島県建築指導課

■耐震診断結果の総括表

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

所管行政庁	建築物の数			地震(震度6強以上)に対する安全性			工事中 (内数)	所有者 不在	耐震化率
	計	所有者の区分		I	II	III			
		公共	民間	倒壊・崩壊の危険性が 高い	倒壊・崩壊の危険性が ある	倒壊・崩壊の危険性が 低い			
				現行耐震基準未滿(耐震改修等の努力義務あり)		現行耐震基準相当			
福島県	21	0	21	9	4	5	0	3	23.8%
福島市	9	0	9	5	1	3	0	0	33.3%
郡山市	12	0	12	6	2	4	0	0	33.3%
いわき市	1	0	1	0	0	1	0	0	100.0%
合計	43	0	43	20	7	13	0	3	30.2%

※1つの建築物に対し、診断結果が複数ある場合は、安全性が低い方のランク（I>II>III）で集計しています。

※福島県所管以外の区域については、所管行政庁である市において、結果の公表を実施しています。

※耐震化率は地震（震度6強以上）に対する安全性がIIIの建築物を建築物の総数で除したものです。

※既に解体された建築物は、含まれていません。

要安全確認計画記載建築物(避難路沿道建築物)の耐震診断結果(所管行政庁:福島県)

令和5年3月31日現在

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考(改修予定等の補足)
								内容	実施時期	
1	会津若松市	中央公園ビル	福島県会津若松市中央2丁目98番地	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =1.288(1.0) C _T ・S _D =0.773(0.3)	III			耐震診断の結果耐震性有
2	会津若松市	第四北越銀行 会津支店	福島県会津若松市大町1丁目352番地	銀行	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =1.183(1.0) C _T ・S _D =0.73(0.3)	III			耐震診断の結果耐震性有
3	会津若松市	神明中町ビル	福島県会津若松市中町134番地、135番地、136番地	店舗・倉庫	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	IS=0.058(0.6) q=0.232(1.0)	I	方針を検討中		
4	会津若松市	石川ビル サトウ時計店	福島県会津若松市中町184番地1、184番地2	店舗兼事務所	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	IS=0.187(0.6) q=0.672(1.0)	I	方針を検討中		
5	会津若松市	フジビル	福島県会津若松市栄町139番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.331(1.0) C _T ・S _D =0.409(0.3)	I	方針を検討中		
6	会津若松市	石井ビル	福島県会津若松市中央1丁目76番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.521(1.0) C _T ・S _D =0.310(0.3)	II	方針を検討中		
7	会津若松市	のみくい処作蔵中央店	福島県会津若松市中央3丁目77番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.371(1.0) C _T ・S _D =0.227(0.3)	I	方針を検討中		
8	会津若松市	ウナインビル	福島県会津若松市中央3丁目85番地	事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.370(1.0) C _T ・S _D =0.281(0.3)	I	方針を検討中		
9	会津若松市	サトーカラー現像所	福島県会津若松市大町2丁目343番地、344番地	店舗併用住宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.940(1.0) C _T ・S _D =0.510(0.3)	II	方針を検討中		
10	会津若松市	耐南中央ビル	福島県会津若松市中央2丁目101番地	店舗・居宅・倉庫・機械室	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =1.140(1.0) C _T ・S _D =0.450(0.3)	III			耐震診断の結果耐震性有
11	会津若松市	林ビル	福島県会津若松市大町1丁目299番地	店舗・事務所・居宅	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	IS=0.059(0.6) q=0.235(1.0)	I	方針を検討中		
12	会津若松市	佐藤ビル	福島県会津若松市大町1丁目353番地	店舗・事務所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.565(1.0) C _T ・S _D =0.330(0.3)	II	方針を検討中		

No.	市町村	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	安全性の評価(I, II, III)	耐震改修等の予定		備考(改修予定等の補足)
								内容	実施時期	
13	会津若松市	Hビル	福島県会津若松市中町350番地1	店舗・事務所・居宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.258(1.0) C _T ・S _D =0.163(0.3)	I	耐震補強設計	令和5年度着手予定	
14	会津若松市	三好野	福島県会津若松市中町187番地、185番地、192番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.238(1.0) C _T ・S _D =0.201(0.3)	I	方針を検討中		
					一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	IS=0.021(0.6) q=0.082(1.0)				
15	会津若松市	リオン・ドールガーデン	福島県会津若松市栄町140番地、141番地、143番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	要緊急安全確認大規模建築物で公表済	III			平成31年耐震改修完了
16	会津若松市	中央一丁目ビル	福島県会津若松市中央1丁目3-18	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =0.708(1.0) C _T ・S _D =0.360(0.3)	II	方針を検討中		
17	会津若松市	武藤ビル	福島県会津若松市中央一丁目2-26	店舗・事務所・居宅	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/IS ₀ =1.037(1.0) C _T ・S _D =0.610(0.3)	III			耐震診断の結果耐震性有
18	会津若松市	平出ビル・ハジヤイビル	福島県会津若松市栄町167番地、162番地、173番地	店舗・倉庫・住宅	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	IS=0.067(0.6) q=0.267(1.0)	I	方針を検討中		
19	会津若松市	所有者不在建築物	福島県会津若松市中町349番地1	使用停止中						
20	会津若松市	所有者不在建築物	福島県会津若松市栄町125番地、122番地1、126番地1、126番地2	使用停止中						
21	会津若松市	所有者不在建築物	福島県会津若松市大町1丁目338番地	使用停止中						

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上の主要な部分の地震に対する安全性の評価

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、 又は崩壊する危険性が高い	II 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険がある	III 地震の震動及び衝撃に対して倒壊 し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版、2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」		上部構造評点 < 0.7	左右以外の場合	$1.0 \leq$ 上部構造評点